

はじめての フラメンコ入門ガイド

あなたの店や施設でも、
フラメンコは
できます。

踊りだけじゃない。
歌、ギター、手拍子、足音。

その場の空気ごと動かす、
スペイン生まれの音楽があります。



名前は聞いたことがある。

でも、実はよく知らない。

そんな方のための、

フラメンコの最初の一冊です。

なぜ、街に フラメンコを？

フラメンコギタリスト
池川寿一



もっと多くの人に、
フラメンコと出会ってほしい。

ぼくは6歳からフラメンコギターを弾いてきました。

これまで、劇場やライブスペースだけでなく、飲食店、
公共施設、老人ホーム、学校、地域イベントなど、
さまざまな場所でフラメンコを届けてきました。

そこで何度も見てきたのは、初めてフラメンコに触れた人の
驚いた顔や、思わず手拍子をしてしまう瞬間、
そして終演後の笑顔です。

けれど今も、フラメンコは「スペイン料理屋」や
「専門のライブスペースで観るもの」と思われがちです。

でも、本当はもっと身近な場所ができる。

あなたのお店でも。

あなたの施設でも。

あなたの街でも。



全国に、フラメンコと
初めて出会う場所を増やしたい。

そんな思いから、
街メンコを始めました。



カフェ・飲食店で

おいしい時間に、情熱の音と踊りを。



公共施設で

誰もが参加できる、文化のひとつとき。



老人ホームで

心に響く音楽が、笑顔をつくれます。



地域イベントで

まちにぎわいとつながりを。

実は、日本で こんなに愛されています

日本は、本場スペインに次ぐ
フラメンコ愛好国です。

フラメンコはスペイン南部・アンダルシア地方で生まれました。

でも実は、日本には長年にわたって
フラメンコを愛し、踊り、歌い、ギターを弾く
人たちがたくさんいます。

全国にはフラメンコ教室があり、
発表会やライブ、地域イベントなど、
さまざまな場所でフラメンコが楽しまれています。

東京だけではなく、
北海道から九州まで、
日本中にフラメンコを愛する人たちがいます。



北海道

札幌の教室でも
情熱的にフラメンコ!



東北・関東

ライブやタブラオで
迫力あるステージを体感。



中部・近畿

子どもから大人まで
教室で楽しく学べる。



九州・沖縄

カフェやレストランでも
気軽にフラメンコを楽しめる。



全国各地

高齢者施設でも
笑顔あふれるひとときに。



中国・四国

地域イベントや夏祭りで
フラメンコが大人気!



遠い国の文化なのに、
日本の暮らしの中にも、すでに深く根づいている。
それがフラメンコです。

フラメンコって、 どんな音楽？

「スペインの踊り」だけではありません。

フラメンコと聞くと、華やかな衣装で踊る姿を思い浮かべる方が多いかもしれません。

でも、本来のフラメンコは、踊りだけで成り立つものではありません。



バイレ | 踊り

身体で感情を表現し、足音も音楽にします。

トケ | ギター

踊りと歌に寄り添いながら、リズムと旋律をつくります。



カンテ | 歌

フラメンコの心臓部。歌が、踊りとギターを引っ張ります。



パルマ | 手拍子・掛け声

さらに、手拍子や掛け声も加わります。



「踊り、歌、ギター。」

それぞれが呼吸を合わせて、
その場でひとつの音楽をつくっていきます。

足音も、 フラメンコの 音楽です

ダンサーは、
踊る打楽器奏者でもあります。

フラメンコの踊りでは、靴のかかとやつま先で床を鳴らす「サバテアード」という足音があります。この足音は、ギターや歌とやり取りをしながら、リズムをつくる大切な音のひとつです。

そのため、踊りを入れる場合は、床を傷つけない工夫や、足音がきれいに響く環境づくりが必要になることがあります。

コンパネとは？

ダンサーの足元に置く、持ち運びできる板のことで、

ただし、すべての会場で必ず必要というわけではありません。踊りの内容、会場の床・音の響き・スペースに合わせて、出演者と相談しながら決めていきます。

コンパネの持ち込み・レンタル・購入・支援金の活用など、方法はいくつかあります。

会場に合わせて、無理のない形を一緒に考えます。

必要に応じてコンパネや音響を工夫することで、

街のいろいろな場所にフラメンコの時間が生まれます。



ライブでは、 何が起きている？

フラメンコは、
演者同士の“会話”です。✿

フラメンコのライブは、
決められた通りに進むだけではありません。
踊り手が足音や動きで合図を送り、
ギターや歌がそれに応えます。

- ✿ 歌い手の声に、ギターが寄り添う。
- ✿ ギターのリズムに、踊りが火をつける。
- ✿ 踊りの合図に、全員がびたりと応える。

その場の空気や、お客さまの反応も含めて、
毎回少しずつ違うライブになります。

目の前で生まれる、
その日、その場所だけの
一回限りの時間。
それがフラメンコライブです。



小さな場所でも、 フラメンコはできます

大きな劇場がなくても大丈夫です。

フラメンコは、必ずしも大きなホールや専用の舞台で行うものではありません。

- ✿ カフェの一角。
- ✿ レストランの壁際。
- ✿ 老人ホームのホール。
- ✿ 地域の集会所。
- ✿ 商店街のイベントスペース。

会場に合わせて人数や内容を工夫すれば、小さな場所でも十分に楽しめます。



たとえば



ギターだけのミニ演奏

落ち着いた食事の時間や、小規模な催しに。



ギターと踊りのミニライブ

店内や地域スペースに、華やかさを加えたい時に。



歌・ギター・踊りがそろったライブ

周年イベント、地域のお祭り、施設行事などに。

大切なのは、会場の大きさではなく、
その場所に合ったフラメンコを届けることです。





ライブを楽しむために必要なこと

床・音・距離。

会場に合わせて、少しだけ整えます。

フラメンコライブでは、会場ごとに少しずつ準備をします。

床



踊りが入る場合は、床の状態を確認し、必要に応じてコンパネなどで、足音や床への影響に配慮します。



音



会場の広さや内容に応じて、必要な場合は小さなスピーカーやマイクを使うことがあります。

機材は、持ち込み・レンタル・支援金の活用など、出演者と相談しながら決められます。



距離



お客さまとの距離が近いほど、迫力や一体感は増します。その場所で一番心地よく観られる配置を考えます。



必要な準備は、会場に合わせて出演者と相談しながら決められます。

床・音・距離を少し整えることで、その場所らしい、気持ちよく楽しめるフラメンコライブをつくっていきます。





初めての人ほど、一緒に楽しめます！

手拍子ひとつで、 会場が変わります。

フラメンコには、「パルマ」と呼ばれる手拍子があります。

また、「オー！」などの掛け声も、
ライブを盛り上げる大切な要素です。

難しいリズムを知っている必要はありません。

演者の声かけに合わせて拍手をしたり、
手拍子をしたり。

それだけで会場には不思議な一体感が生まれます。

- ❖ 飲食店なら、お客さまが。
- ❖ 施設なら、利用者さんが。
- ❖ 地域イベントなら、子どもも大人も。



観るだけではなく、
その場にいる人が少し参加できる。
だからフラメンコは、
初めての方にも届きやすいのです。



街メンコ支援プロジェクト

あなたの地元にも、
フラメンコを届けよう。

フラメンコを初めて観る人に。
フラメンコを初めて開催する場所で。
小さくても、その場に合った本物のライブを届ける。
そんな最初の一歩を後押しするのが、
街メンコ支援プロジェクトです。



初めての開催を、4つの形で応援します。



費用支援

出演料、会場費、
機材レンタル費、
チラシ印刷など、
開催に必要な費用の
一部を支援します。
支援金は上限5万円。



アーティスト紹介

誰に頼めばいいか
分からない場合も、
地域のフラメンコ
関係者をご紹介します。



企画相談

どんな内容なら
楽しんでもらえる？
何分くらいが
ちょうどいい？
そんな段階から
一緒に考えます。



街メンコMAP掲載

開催後は、あなたの
場所で生まれた
フラメンコの時間を
街メンコMAPなどで
紹介予定です。

こんな企画を応援します。

- その場所で、初めてフラメンコを開催する
- フラメンコを初めて観る方に向けたライブである
- 飲食店、福祉施設、学校、地域イベントなどでの開催
- 「発表会」ではなく、お客さまにライブとして届ける企画



大きな一歩じゃなくていい。
完璧じゃなくていい。
『誰かにフラメンコを届けたい』
その気持ちがあれば、
街メンコが後押しします。



まずは、『ちょっと聞いてみたい』から。

https://vivafla.jp/machimenco_shien/

まずは気軽に相談する

活動支援を申請する

